

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道356号 銚子バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	千葉県
起終点	自：千葉県銚子市大橋町 至：千葉県銚子市小船木町				延長	8.2 km
事業概要	一般国道356号は、千葉県銚子市を起点とし、佐原市を経て我孫子市に至る延長約110kmの幹線道路である。銚子バイパスは、現国道356号の銚子市内における交通混雑解消を目的とした延長8.2kmの2車線道路である。					
H元年度事業化	都市計画決定なし		H2年度用地着手	H10年度工事着手		
全体事業費	約50億円	事業進捗率	45%	供用済延長	0.8km	
計画交通量	14,900台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 3.0	総費用 (残事業)/ (事業全体) 31/54億円 (事業費：25/47億円) (維持管理費：6/6億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 93/93億円 (走行時間短縮便益：101/101億円) (走行費用減少便益：-5/-5億円) (交通事故減少便益：-3/-3億円)	基準年 平成15年		
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保（特急停車駅へのアクセス向上） ・個性ある地域の形成（観光地へのアクセス強化） ・安全な生活環境の確保（歩行者が多い区間に歩道設置）					
関係する地方公共団体等の意見	他4項目に該当（定量的評価項目を除く）					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	現道は、交通量2万台以上、混雑度1.4程度で推移しており、非常に混雑した状況で、水産品流通等の経済活動、日常生活に支障をきたしている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに利根かもめ大橋有料道路の開通（H12.3）に合わせ、取付部0.8kmを部分供用し、残る部分についても用地買収や工事を進めている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	排水路を樋管として統廃合することについて、河川管理者と地元との調整に時間を要したが、今後は、投資効果の早期発現のため、重点整備区間を設定し、早期の部分供用を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	盛土材に利根川の河川浚渫土を利用することにより、コスト縮減を図るとともに、建設リサイクルを推進している。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は高く、早期の完成が必要と考えられる。					
事業概要図						

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。